

# ぶどうの休眠期防除に。

果樹用殺菌剤

## デラン<sup>®</sup>フロアブル

黒とう病



房全体(シャインマスカット)



枝病斑(シャインマスカット)

つる割病



休眠期枝病斑



生育期枝病斑



葉病斑

晩腐病



房全体



果実拡大

黒とう病・つる割病・晩腐病の防除は、休眠期防除が重要です。  
休眠期防除・生育期防除を徹底してください。

■適用病害と使用方法(ぶどうの休眠期登録のみ記載)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ぶどう	黒とう病 晩腐病 つる割病	200倍	休眠期	1回

※もも、ネクタリン、かき、うめ、りんご、なし、かんきつ、いちじく、おうとう、いちご、せんりょうにも適用があります。



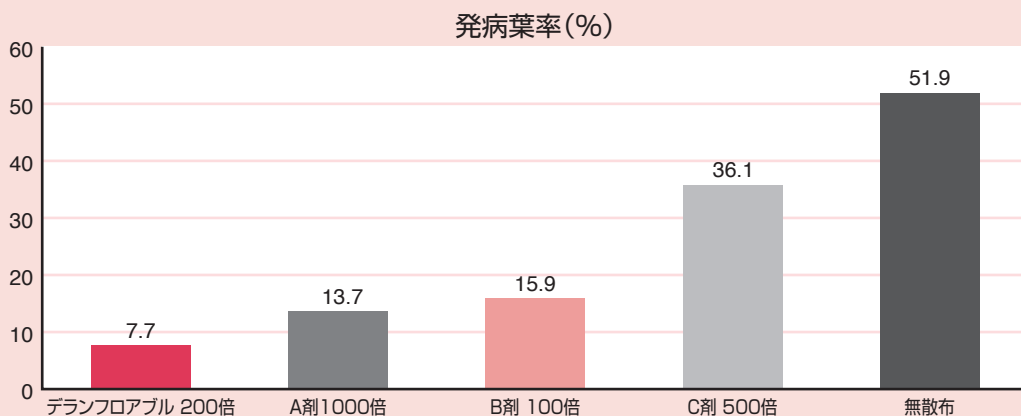
### 使用上のポイント

- 休眠期防除では、発芽前の散布が有効です。
- 石灰硫黄合剤との混用は避けてください。石灰硫黄合剤と併用する場合には、5日以上の間隔をあけてください。

## ●黒とう病での効果比較

### <試験方法概要>

試験年次: 平成20年  
試験機関: 日本植物防疫 茨城研究所  
品 種: マスカット・ベリー 21年生  
試験規模: 1区 4樹 2反復  
発病程度: 甚発生  
試験薬剤: デランフロアブル 200倍  
A剤 1000倍  
B剤 100倍  
C剤 500倍  
散布水量: 十分量  
散布日: 4月2日  
調査日: 5月7日

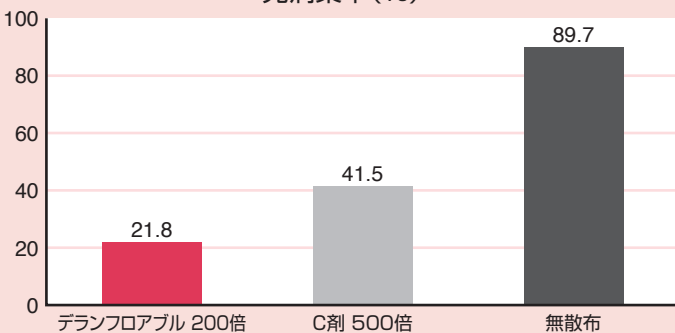


## ●つる割病での効果比較

### <試験方法概要>

試験年次: 平成25年  
試験機関: 日本植物防疫 山梨研究所  
品 種: 黄華 8年生  
試験規模: 1区 垂主枝5~6m 3反復  
発病程度: 多発生

発病率 (%)



### <試験方法概要>

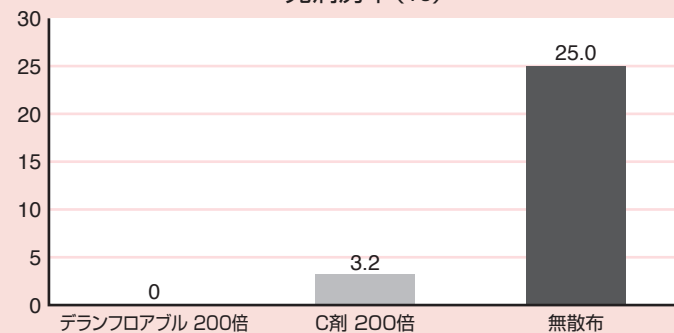
試験年次: 平成25年  
試験機関: 日本植物防疫 山梨研究所  
品 種: 黄華 8年生  
試験規模: 1区 垂主枝5~6m 3反復  
発病程度: 多発生  
試験薬剤: デランフロアブル 200倍  
C剤 500倍  
散布水量: 十分量  
散布日: 4月16日  
調査日: 5月23日

## ●晩腐病での効果比較

### <試験方法概要>

試験年次: 平成11年  
試験機関: 長野県中信農業試験場  
品 種: 巨峰 6年生  
試験規模: 1区 1樹 2反復  
発病程度: 少発生

発病率 (%)



### <試験方法概要>

試験年次: 平成11年  
試験機関: 長野県中信農業試験場  
品 種: 巨峰 6年生  
試験規模: 1区 1樹 2反復  
発病程度: 少発生  
試験薬剤: デランフロアブル 200倍  
C剤 200倍  
散布水量: 10ℓ/樹  
散布日: 4月16日  
調査日: 9月30日(収穫期)

## ⚠️効果・薬害等の注意

- 本剤は分離を防止するため、静置時は粘度が高く、振れば容易に粘度が下がるように処方されているので、必ず振ってから使用してください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- かんきつに使用する場合は次のことに注意してください。
  - 1)開花期以降のマシン油乳剤との混用散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また開花期以降に本剤を使用する場合は、マシン油乳剤との散布間隔を30日程度あけてください。
  - 2)夏期以降の散布は果皮に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
  - 3)炭疽病(さび果)に使用する場合は、感染期に約1ヵ月の間隔で発病前に予防的に散布してください。
  - 4)収穫後長期間貯蔵する中晩相に使用する場合は、貯蔵中、果皮に斑点が発生することがあるので、散布をさけてください。
- りんごのモニリア病に使用する場合は、多発条件下では所定希釈倍数内の高濃度で使用してください。
- ハウス栽培のなしに対しては、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 機能性展着剤(アプローチBIなどの)の加用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- ぶどうの黒とう病に使用する場合は、発芽前~新梢伸長期に予防的に散布するのが効果的です。ただし新梢伸長期の散布は葉に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- いちごおよびせりょうに使用する場合は、新葉に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

このチラシの記載内容は2020年11月現在のものです。

## ⚠️安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱には十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服の交換をしてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 施設内で使用する場合は、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 魚毒性**: 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管**: 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

# BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階  
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>



詳細はWEBでも  
ご覧いただけます。